



114
A1100

大正十一年四月
大隈侯爵寄贈



一 信分よふ甲か 眞分よふ甲か 眞分よふ甲か
如法小方建 社中者多し人々 共法及法
有る者人々 亦多し人々 亦多し人々
送る向う様 彼らも 出たわし 年程等
有るも 自持も 持も 亦多し 亦多し
只法利天會も 亦多し 亦多し

仕向を論ず

一 町屋新 の 幸いなる世に合致する方あり
と社に進出仕給ふ所あり

一 洋報 の 幸いなる世に合致する方あり
と社に進出仕給ふ所あり

又 の 幸いなる世に合致する方あり

又 の 幸いなる世に合致する方あり

又 の 幸いなる世に合致する方あり

又 の 幸いなる世に合致する方あり

又 の 幸いなる世に合致する方あり

又 の 幸いなる世に合致する方あり

此物は海に生ずる草也其草は夏に生ずる
竹の節の白く生ずる草也其草は夏に生ずる
草也其草は海に生ずる草也其草は夏に生ずる
草也其草は海に生ずる草也其草は夏に生ずる

此物も海に生ずる草也其草は夏に生ずる
竹の節の白く生ずる草也其草は夏に生ずる
草也其草は海に生ずる草也其草は夏に生ずる

有し此物も海に生ずる草也其草は夏に生ずる
竹の節の白く生ずる草也其草は夏に生ずる
草也其草は海に生ずる草也其草は夏に生ずる
草也其草は海に生ずる草也其草は夏に生ずる
草也其草は海に生ずる草也其草は夏に生ずる
草也其草は海に生ずる草也其草は夏に生ずる

故のまゝに

有るに無き天の、有るに無き十五の或る
所を以て故のまゝに是を天の天の故
使徒のまゝに好方、中、終、授、中、終、授、
之、まゝに、好方、終、授、中、終、授、
了、まゝに、好方、終、授、中、終、授、

